

次世代型のファブリックディスプレイ『ICファブリックチェンジャー』

店舗・イベント・ホール装飾の定番へ

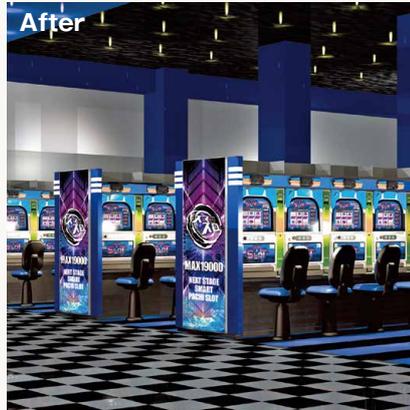
インターコスモスはこのほど次世代型のファブリックディスプレイを発表。新たな装飾の定番ツールとして注目を集めている。



センター通路の正面に『ICファブリックチェンジャー』を施工したイメージ写真。簡単に店内の華やかさを、一段階向上させることができる。



カウンター周りも装飾の影響が大きいスペースの一つになっている。



こちらは、パチスロ島の妻板に施工したイメージカット。このような装飾の有無によって店内の印象は大きい変化することが分かる。



誰でも簡単に装飾を差し替えることができる。

あらゆるシーンで活躍  
次世代型ディスプレイ

今回リリースされた装飾ツール『ICファブリックチェンジャー』最大の特長は、シリコンエッジ方式による簡便なビジュアル交換システム。一度フレームを設置すれば、以後は工具や施工を必要とせず、誰でも簡単にファブリックを差し替えでき、シーズンごとの演出変更や新商品告知にも即応可能だ。サイズは、最大3100ミリ

横比でも自在に設計。正面からフレームがほぼ見えない洗練されたデザインと、高発色で上質な風合いを持つファブリックで、空間全体の印象を向上できる。

すでにホールでの採用も進行中で、風除室や妻板、カウンター、など、多様な設置箇所での装飾変更が手軽に行える点が評価され、リニューアルや販促の即戦力としての役割を果たしている。

空間に最適化されたデザイン性と実用性を両立した『ICファブリックチェンジャー』。あらゆるシーンで幅広く活用できる次世代型ファブリックディスプレイとして、ビジュアル演出の新たなスタンダードとして拡がりを見せていきそうだ。

製品概要はこちら

